

	令和6年 11 月 社会教育委員会議 議事概要
日 時	令和6年 11 月 11 日(月) 午後2時～午後4時
場 所	吹三地区公民館会議室1・2
出席者	(出席委員) 田尻委員、大嶋委員、尾崎委員、兵頭委員、塩路委員、 杉山委員、村田委員、山ノ内委員、和田委員 欠席委員3名 (事務局職員) 地域教育部 堀次長 まなびの支援課 北野課長 中央図書館 大平館長、長尾館長 文化財保護課 葉山課長 青少年室 二宮室長、市場参事、小川参事、前田主幹、宮本主幹 青少年クリエイティブセンター 曾我館長 まなびの支援課(運営) 太田課長代理、岡田主査、関係員
	◎会議の成立状況等報告 市社会教育委員12名のうち出席委員 9 名 吹田市社会教育委員会議規則第3条第 6 項の規定により会議は成立。 傍聴者 なし ◎会議資料 <資料(P1～22)> ・健都レールサイド公園及び吹田市立健都ライブラリーの指定管理者の指定について ・吹田市立自然の家の指定管理者の指定について ・北千里小学校跡地周辺地区(大阪府吹田市)(都市構造再編集集中支援事業) ・令和6年4月～令和6年9月実施後援事業一覧 ・令和6年度(第 76 回)吹田市二十歳を祝う式典について ・令和6年度 太陽の広場委託モデル事業の進捗について <別紙1> 第3期吹田市教育振興基本計画 吹田市教育ビジョン(案) <机上配布> ・健都 FES2024 ・令和6年度(第 21 回)図書館フェスタじゅずつなぎ ・紙芝居の歴史と坂本一房について ◎案件 案件Ⅰ 第3期吹田市教育振興基本計画 吹田市教育ビジョン(案)について (別紙Ⅰ) 《議長》 資料に「こども」と「子供」の表記が混在しているのは、なぜか。

《まなびの支援課》

基本は、漢字表記の「子供」としているが、その他法令・固有名詞は、その表記に合わせている。同計画の担当課の教育未来創生室もこの点については認識しており、整理を進めている。

《副議長》

重点課題2に「誰一人取り残さない」という記載があるが、現実的に実現するのは難しいのではないかと。外国にルーツを持つ子供やジェンダー平等などに対する地域教育部の取組はどうなっているのか。

《まなびの支援課》

外国にルーツを持つ子供やジェンダー平等に関しては、主に学校教育部の取組の中で記載をしている。地域教育部としては、それらに関する講座を実施するなどして、公民館利用者数などで評価をしていきたいと考えている。

《委員》

子ども・若者支援地域協議会というのは、各地区にあるのか。

《青少年室》

地区ごとにあるものではなく、全地域を包括するものとして青少年室が運営している協議会である。

案件2 健都レールサイド公園及び吹田市立健都ライブラリー指定管理者候補選定結果について（P1-2）

《委員》

「健都」という言葉になじみがない。健康・スポーツといった観点だけでなく、岸部地域をコンパクトシティとして、文化的な要素も含めた視点を持ったまちづくりを進めてほしい。

《中央図書館》

PR 不足の可能性があるが、健都ライブラリーは、市内の図書館の中でもイベント数が一番多い施設である。今後は、地域活性化につながるような取組みを新しい事業者とも協力して行っていきたい。

案件3 自然の家指定管理者候補者選定結果について（P3-4）

《委員》

飲酒の取り扱いなどの施設のルールは、変わるのか。

《青少年室》

市の方針として、今あるルールを継続することになる。また、指定管理者は現指定管理者が2期目も候補者として選定されている。

案件4 北千里小学校跡地複合施設整備に係る都市構造再編集集中支援事業の事後評価の実施について（P5-8）

《議長》

事後評価は誰が行うのか。

《まなびの支援課》

利用者アンケートの集計結果をもとにまなびの支援課が行う。

《議長》

市外の利用はあるか。

《まなびの支援課》

市外の利用はある。アンケートで確認している。

《委員》

事後評価を評価する立場である社会教育委員は、まちなかりビング北千里の施設を改めて訪れ、確認しておく必要はあるか。

《まなびの支援課》

特段、改めての確認は必要ない。

《委員》

事後評価の結果は国に提出するものか。

《まなびの支援課》

結果は国に提出する。

《委員》

事後評価の結果によっては、補助金の返還を求められることはあるのか。

《まなびの支援課》

補助金の返還を求められることはない。目標に達していない場合、大阪府と協議してフォローアップ計画を作成し、目標達成方法を追記し、国に提出する。

案件5 地域教育部令和6年度上半期 後援について (P9-16)

《議長》

後援をしている団体の活動内容をみると疑問に思うものもある。教育委員会として本来に応援できる内容かより一層精査してほしい。

《まなびの支援課》

令和6年5月に吹田市教育委員会後援等の実施に関する要領を一部改正した。同要領に基づき適切に努めていく。

《副議長》

参加が1名の事業があるが、1名の活動に対しても後援しているのか。

《青少年室》

初めから1名と決まっていたものではなく、募集した結果として1名となった。

《副議長》

コロナ収束後、令和5年度から6年度にかけて、件数が減っていることについてはどう考えているのか。

《まなびの支援課》

教育委員会が主体的に行う事業ではないので、今後、経過を見ていく。

案件6 所管からの報告

(1) 令和6年度二十歳を祝う式典について (P17)

《議長》

親族は、当日自由に入場できるのか。

《青少年室》

今年度は、事前に親族用の入場券を発行し対応する。

《議長》

過去において、式が荒れることはあったのか。

《青少年室》

地域や学校の協力で、荒れることなく運営してきた。

《副議長》

雨天時の対応にまだ懸案事項があるのではないか。また、参加人数が増えても、二部制で実施すれば、屋内会場でも開催可能と思われる。

《青少年室》

駅から会場までは、シャトルバスの運行、雨天時には舞台の上に雨除けの透明な屋根を設置するなどして対応している。二部制にした場合、最初の部の式が終わっても参加者が会場に残り、入替えに時間がかかり、大変混乱すると近隣市から聞いているため、一部制にしている。

《副議長》

他市に比べて参加率はどうか。参加人数が増えた理由はなにか。

《青少年室》

郊外の人口の少ない市町村では、参加率は高い傾向がある。同規模の市と比較した場合、参加率は高い。本市の参加率の増加要因の一つとして、シンボリックな場所で実施することが考えられる。

（２） 太陽の広場委託モデル事業の進捗について（P18-22）

《議長》

山田第一小学校と江坂大池小学校の児童数は。利用は低学年が中心となっているのか。

《青少年室》

両校とも約 500 名で利用は低学年が中心となっている。

《議長》

民営化して、参加人数はようになったか。

《青少年室》

山田第一小学校は、以前は月 1 回のイベントとして実施していたため、民間委託後の実施形態が異なるが、山一・江坂大池小学校とも実施回数が増えたため、合計人数は増えている。

《委員》

民間委託と直営の違いは何か。市から民間委託後に活動内容について指示はあるのか。

《青少年室》

直営ではなく、地域への委託では、地域の実情に合わせた運営ができる。委託事業者には仕様書で活動内容について取り決めをしている。

	《議長》 参加人数は、学童保育の児童込みの人数なのか。 《青少年室》 学童保育の児童は、集計に含まれていない。 《議長》 小学校との連携や評価についてはどうか。 《青少年室》 小学校は、これから詳しく聞き取り調査を行う予定で、現時点の評価としてはおおむね良好である。 （３）その他（図書館主催行事・文化財保護課等報告） 《中央図書館》 健都 FES2024、図書館フェスタじゅずつなぎについて報告（説明省略） 《文化財保護課》 紙芝居の歴史と坂本一房等について報告（説明省略） 地域教育部 次長挨拶
--	---